

かなまる

平成30年7月2日
久留米市立金丸小学校
学校便り No.5
校長 塚本 齊

サポート活動』とも呼ばれており、「Peer=仲間、友達」+「Support=助ける」活動の
ことです。学年を越えた友だちとつながり、今後、支え合っていくことを目的とした「思
いやり活動」ということにもなると思います。



この日のために、縦割りグループの6年生のみなさんは、「どんなゲームをみんなが楽
しんでくれるか?」「どんなことをしたら仲良くなれるか?」考え、集会の準備を行
い、練習もしてくれたのではないのでしょうか。はじめの6年生の、感想からも、みんな
がなかよしになれた様子が伝わってきます。それに加え、集団をまとめていく難しさに
も気づくことができ、多くのことを学んだ1日になったようです。

「叱る」時って、どんな時?

学校便りNo.3の『心の中のコップ』ということで、多くの体験の中で子どもたちを
賞賛しながら、子どもたちの心に、「成就感」「自信」「楽しさ」「仲よし」等の様々な
プラス要因をためていくことが、子どもたちの『優しさ』をつくることでした。話を
させていただきました。今回は、反対の「叱る」ということについて述べたいと思いま
す。どのようなとき、子どもを叱るのでしょうか。私は以下のように考えます。

- ①命・安全にかかわること(危ない遊び、暴力)
- ②相手の悲しみの上に自分の幸せを築くこと(悪口やいじめ等)
- ③3度言っても、言うことを聞かないとき



これらの三つに対してはきびしく叱るべきだと考えています。そのかわり、『叱る理由を
はっきり子どもにつたえること。子どもの人格は否定せず行為を否定すること。いつまで
も長々と叱らないこと。改善できたら即座にほめること。』は大事なことだと考えてい
ます。

7月・8月の主な行事

- 10日(火) 委員会活動
- 13日(金) 学期末懇談会
- 20日(金) 1学期終業式
- 8月6日(月) 全校出校日
- 12日(日) ~16日(木) 学校閉庁日
- 16日(月) 祝日 海の日
- 27日(月) 2学期始業式

「九州北部豪雨7.5」に思う

わかりにくい写真で申し訳ないのですが、右の写
真は昨年度の8月に災害ボランティアとして朝倉の
ゴミ集積場に行った際に撮ったものです。おじい
ちゃんやおばあちゃんをふくめ家族みんなで、泥ま
みれになった家財道具等を疲れた顔をされて持ち込
まれている姿が今でも心に残っています。



昨年7月5日の「九州北部豪雨災害」。記憶に新
しいところだと思えます。復興にもまだまだ時間がかかり避難生活を余儀なくされている
方も未だに多くいらっしゃいます。それどころか、梅雨時期に入り、継続的な大雨に被害
の拡大が心配されているところです。

今年は、例年より一週間ほど早く梅雨入りしました。雨は少ないように感じていまし
たが、先週からまとまった雨が降り始めました。また、台風7号も重なり、5年生の宿
泊体験も、様々な不測の事態に備え中止いたしました。今後も急な大雨も予想されます。

金丸小学校はみなさまご存じの通り、久留米の中心に位置しています。土砂災害等の
危険は少ないと思えますが、不安に思うのは「河川の氾濫」と「急な雷」です。そこ
で、下記の2点について、ご家庭でもご指導をよろしくお願い申し上げます。

- ①雨が降ったときは、ぜったいに川や溝に近づかない。
- ②「ゴロツとなったり、空が光ったりした」ときは、広いところを避け建物の中に入る。

「なかよし集会」を行いました



集(あつ)まった1年(ねん)から5年生(ねんせい)のみんなを静(しず)かにさせたり、話(はなし)を聞(き)いてもらったりするのが難(むずか)しかった。ゲームのル
ールを説明(せつめい)してもわかってくれないことがあった。(6年生男子)

ゲームが終(お)わったとき、みんなが「まだやりたい」といつてくれたことがとてもう
れしかった。この集会(しゅうかい)でみんなが楽(たの)しんで、仲良(なかよ)くなれ
たような気(き)がします。(6年生女子)

これは、先月13日に行われた「なかよし集会」を終えての6年生児童の感想です。本校
では、ブロックごとの縦割り班の仲間と活動する教育を取り入れています。今回の「な
かよし」集会もそうですし、2学期行われる体育会もそうです。この活動は、『ピア・